

「HyperRecycle」導入で 廃棄物収集情報を一元管理 指定伝票やインボイス制度に対応



導入の狙い

- ・廃棄物収集情報を一元管理して、業務を効率化
- ・インボイス制度への対応

導入システム

- ・基幹業務システム『SMILE V 2nd Edition 販売』
- ・廃棄物処理業様向け販売管理システム『HyperRecycle』

導入効果

- ・廃棄物収集情報と販売管理情報の一元管理が実現
- ・各種帳票発行作業の効率化
- ・多様な情報分析が可能に

USER PROFILE

株式会社ジョートー

【業種】排水槽清掃

【事業内容】排水槽・浄化槽の清掃

【従業員数】15名（2024年9月現在）



2024年9月取材



『SMILE V 2nd Edition 販売』と『HyperRecycle』で業務を効率化

株式会社ジョートーは、昭和41年の創業以来、主にビルピットと呼ばれる排水槽清掃と浄化槽清掃を行う会社だ。産業廃棄物分野での競争力強化とインボイス制度対応をはじめとしたコンプライアンスの強化に向けて、基幹業務システム『SMILE V 2nd Edition 販売』と廃棄物処理業様向け販売管理システム『HyperRecycle』を導入。必要帳票を出力するだけでなく、各種実績表を即時出力可能な環境を整えて、業務の効率化を実現した。

快適環境を守る 少数精鋭の安定企業

株式会社ジョートーは、創業から半世紀を超える、排水槽と浄化槽の清掃を行う会社だ。東京本社ほかに、埼玉営業所を構えている。業務の約6割はビルピット（ビルの地下にある排水槽）の清掃となる。

ビルには、汚水槽、雑排水槽、貯水槽、雨水槽、湧水槽などさまざまな水槽が設置されている。延べ床面積が3,000平米以上のビルの排水槽には年2回の清掃が法律で義務付けられているのに加え、さらに都の条例では、もう1回の清掃が推奨されている。そのほかの水槽に関しても、年1回の点検清掃が義務付けられている。このような清掃作業には、一般廃棄物と産業廃棄物の収集を許可する特殊な資格が必要なので、同社は「東京都23区許可一廃第371号」「東京都許可産廃 第13-00-017629号」をはじめとして、首都圏をカバーするさまざまな認可を取得している。

東京23区内には約40の同業社があるが、参入に限られた業界のため同社も高いシェアを保っているという。また、ビルピットの清掃以外にも、グリストラップ（阻集器）の清掃や、排水管の高圧洗浄清掃等も行っている。

営業部部長の新村 信之氏は、「平成12年の浄化槽法改正以降旧来の浄化槽（し尿の単独処理浄化槽）は、汚水処理技術の向上により徐々に設置されなくなっています。そのため、今後この分野で競争が激化することはないでしょう。ただし、それは一般廃棄物の分野に限った話で、産業廃棄物の分野は事業参入しやすくなったこともあり、逆に競争は激化していくことが予想されます」と語る。

同社の取引先は約350社、現場数は単発も含めて4,000件以上にもあがる。これらの現場を対応しているのが4名の営業担当者だ。現場作業はオフィスビルに人がいない朝や休日に実施されるため、作業員の朝は早い。しかし、その分帰宅も早い勤務スタイルのため、バランスが取れているという。

事務処理の効率化とインボイス 対応を図り新システム導入へ

約25年前まで、同社では作業内容を記載した受託票をすべて手書きで作成していた。その受託票は3枚複写のカーボン紙の伝票だったため、指にペンだこができるくらいの圧力でボールペンで書いていたという。

新村氏は当時の状況を次のように振り返る。「システム導入前は、営業担当者は受託票を金曜日に持ち帰り、土日で作

業報告書としてまとめていました。さらに、撮影した現場写真をDPEショップで焼いて、台紙に貼るといった作業もあったので、とにかく労働時間は長かったです」

その後、Accessで作成した伝票発行と請求関係の2本のオーダーシステムを導入したことで状況は一変する。手書きしていた各種伝票は、パソコンで入力して発行するようになり、データ連携することで、請求書発行までが一連の流れで運用できるようになったのだ。必要に応じて機能追加を行いながら20年以上活用してきた同システムだが、今後のサポートが難しく、またインボイス対応ができないことが決定打となり、新システムの導入に踏み切った。

「今後、産業廃棄物業界の競争は激化していくと予想されます。その対策として、できるだけ事務処理の効率化を図ることが必要だと考えました。また、法改正に伴うインボイス制度への対応、これは無条件に対応が必要でした」（新村氏）

リコージャパンの営業に相談してパッケージソフトを検討していく中で、提案されたのがOSKの『SMILE V 2nd Edition 販売（以下、SMILE V2 販売）』と『HyperRecycle』の組み合わせであった。産廃収集業務と販売管理業務が一体化していることがポイントとなり、2022年に

営業部 部長
新村 信之氏



定期的な作業の入力が楽になり、そのまま請求処理が行えるようになりました。自由検索ツールからは営業スタッフの毎月の売上実績や、処理場ごとの集計がほぼ瞬時に出せるので大いに助かっています。

経理部
高田 きくゑ氏



SMILE の導入で入力処理は楽になりましたが、以前のソフトの利用期間が長かったので、操作性で苦戦している面があります。でも、操作に慣れれば、想像以上の大きな成果に結びつくような気がします。

経理部
會澤 愛氏



高田さんに指導いただき操作に慣れ始めた段階なので、これから細かい機能を使っていきたいと思います。

導入に至った。

システム導入後の作業の変化について、高田 きくゑ氏は以下の様に語る。

「それぞれのビルで実施する清掃作業は、基本的に毎回同じ作業になります。あるビルで汚水槽を清掃した場合は、そのビルの清掃作業に関する受託票を都度作成します。なので、『HyperRecycle』では前回の受託票の情報を再利用して、日付だけを入れ直すことで、簡単に新しい伝票が作成できるようにしてもらいました。これまでは受託票を毎回最初から入力していたので、入力の手間が減って大変助かっています」

とはいえ、これで万全というわけではない。「作業予定日を修正するときに、月日だけ修正して年の修正を忘れて予定が過去の日付になってしまったり、前回作業日の更新を忘れてしまうなど、まだ慣れていないがゆえのオペレーションミスは起きています。そのため、請求時のチェック作業は慎重に行っています。再利用する時には日付欄を空白にして貰えばよかった、と使い始めてから気付いた箇所もありました」(高田氏)

以前のAccessのシステムは20年近く使用していたこともあり慣れていたし、自分たちで多少はアレンジをすることもできたという。パッケージ製品ではそれは難しい面もあるが、これから操作に慣れていくことで、徐々にチェック作業の負担も軽くなるであろう、と期待しているという。

『HyperRecycle』を自社仕様 にカスタマイズ

導入した『HyperRecycle』は、産業廃棄物の収集を対象とした販売管理システムだ。排水槽の清掃を行う同社の業務内容とは若干異なる処理があるため、一部についてはカスタマイズを加えている。具体的には、排水槽の清掃内容や指示等の



『HyperRecycle』に入力された情報は、伝票発行をはじめ各種集計表へと活用される

契約内容を記録する「受託票入力」、作業内容を入力する「日報入力」、そして「配車入力」の入力処理を新規に作成しているのだ。

マニフェスト伝票についても、主に使用している23区用マニフェスト伝票は新規作成し、通常のマニフェスト伝票についても項目の変更を行っている。

「当社の作業には業界特有ともいえる作業があります。そのため、基本機能のままで使用するのは業務上難しく、カスタマイズ対応してもらうことが必要でした。受託票や配車表、マニフェスト伝票の新規作成をお願いしたため、導入を決めてから本稼働まで1年くらいかかりました」(高田氏)

同製品の導入は2022年9月であったが、カスタマイズに係る一連の分析や確認を行うとともに、旧システムからのデータ移行等の作業により、稼働まで1年を有している。データ移行の作業は大変ではあったが、同タイミングで動きのない単発の現

場のデータを整理できた、という意味では良かったという。

各種データを活かして 業務の負荷を軽減

今後の法改正やシステムのメンテナンスを考慮して、以前のオーダーシステムからパッケージソフトへと切り替えることは、もともと既定路線であった。とはいえ、やはり長年の慣れと、切り替えにストレスを感じる社員に配慮して、なかなか実行に移せなかったという。それでも本稼働から1年が経過し、徐々に『HyperRecycle』は同社に根付いてきている。

「担当者別売上実績表や自由検索ツールは便利に使っています。お客様単位だけでなく処理場別の集計、営業別の集計など、ほぼ瞬時にらせるので大変助かっています」(新村氏)

パッケージソフトである『SMILE V2 販売』『HyperRecycle』には、廃棄物収集に関わる処理以外にも、標準機能として各種集

株式会社ジョートー

計帳票が用意されており、それは同社でも活用されている。

新村氏は次のように語る。「創業以来、当社はビジネスを通して地球環境への負荷をいかに軽減できるかを心がけてきました。さまざまな角度から集計データを見ることで、新たな発想やアイデアが生まれるかもしれませんね」もともと社会貢献意識の高い会社だけに、今後どのようなアイデアが生まれてくるのか、楽しみである。



埼玉県吉川市の埼玉営業所に配備された一般廃棄物収集運搬車、毎朝ここから出発していく



株式会社ジョートー

<https://jyoto.com/>

お問い合わせ

・会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。
 ・事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配付される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。
 ・この記載内容は2024年9月現在のものです。
 Copyright©2024 OSK Co., LTD. All Rights Reserved.

株式会社 OSK
 マーケティング本部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1
 TEL:03-5610-1651 FAX:03-5610-1692
<https://www.kk-osk.co.jp/>